

会 議 録		令和6年2月22日作成	令和9年3月末日廃棄
会議名	京都府綾部警察署協議会（令和5年度第4回）		
開催日	令和6年2月22日（木曜日）		
時 間	午後1時30分から午後3時までの間（90分）		
場 所	京都府綾部警察署 講堂		
出席者	大槻会長、藤田委員、吉田委員、玉川委員、堀委員 （欠席 塩見副会長、上原委員） 計5人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴係長 計10人		
諮 問 事 項	令和5年中における管内の治安情勢について		
会 議 内 容	1 会長挨拶	司会	副署長
	2 署長挨拶		
	3 協議	司会	会長
	諮問事項説明 令和5年中における管内の治安情勢について～各課長		
	【委員】警察官の新規採用、人材確保は大きな課題だと思う。警察官採用試験の合格率はどれくらいなのか。また、人材確保のために施策的なことはしているのか。		
	【警察】令和5年度第1回の採用試験では、4月採用の男性の大学卒業見込者で2.2倍、4月採用の高校卒業見込者では4.1倍であった。10月採用の男性の大学卒業見込者では3.1倍、10月採用の高校卒業見込者では3.4倍であった。また、女性警察官では、大学卒業見込者で6.3倍、高校卒業見込者で4.9倍であった。		
	人材確保については、受験対象者のみならず、5年先、10年先を見据えて小学生、中学生に向けたリーフレットを作成し、子供のうちからアプローチしていく予定である。また、警察はやりがいのある仕事で、鑑識活動や白バイの運転等、専門性のある仕事もあることをアピールしている。		

会 議
内 容

【委員】音楽隊の演奏を見る機会があった。カラーガード隊はかっこよく音楽隊やカラーガード隊に憧れて就職を希望してくる人もいるのか。

【警察】音楽隊、カラーガード隊は、京都府警の広報応接課に所属する警察官で構成されている。音楽隊やカラーガード隊を希望して警察官になる人はいるが、一つの所属で異動することなくやり続けることは少ない。

【委員】自転車のヘルメット着用を定着化するには小学生の時から着用の意識付けを高める必要があると思うが、対策はしているのか。

【警察】小学校、中学校からの要請に応じ、学校で交通安全教室を行っている。この中で、ヘルメット着用の必要性や非着装での危険性等について教えている。また、企業や事業所に対しては、ヘルメット着用モデル事業所に認定するなど、大人に対してもヘルメット着用を働き掛けている。

【委員】拾得物についての説明があったが、JR等では、忘れ物を販売していると聞いたことがある。警察では拾得物はどのように対応、処理しているのか。

【警察】警察では、落とし物の届出があった物は拾得物として3か月間届けられた警察署で預かっている。報労金等の権利放棄をしていない場合、3か月が経過すると、届けられた人に2か月間に限り所有権が移る。この権利が過ぎれば京都府等に帰属されることとなり、お金や有価物等は売却して京都府等の収入となり、それ以外の物は廃棄処分される。

【委員】働き方改革の説明で、時間外勤務の縮減の話があったが、時間外勤務の縮減には人員の増強がセットでなければ機能しなくなるのではないか。

【警察】重要事件等が発生した場合や大きな災害が発生すれば、時間外勤務の縮減等と言ってはおられず、当然、時間外勤務を強いてでも集中的に対応することになる。また、綾部署員だけで対応できない時は本部に応援を求めることもある。しかし、そのような日が365日続く訳ではなく、合理化、効率化を考え、帰れるときは帰る、休める時は休む、といったメリハリのある業務運営と業務管理を徹底している。

【委員】自転車の盗難が多いとの説明であったが、綾部駅前の自転車置き場には、時間帯によって違いはあるが、多数の自転車が停められており、中には、倒れている自転車や明らかに放置されたと思われる自転車がある。このような状況を捉え警察は何か対応はできないのか。

【警察】市外から通学する綾部高校の生徒の自転車が多くの駐輪されていることから、高校への指導や働き掛けを行っている。また、割れ窓理論にならないように関係機関、団体へも働き掛けを行っている。

会 議
内 容

【委員】 特殊詐欺の発生状況の説明で、令和5年中、2件の発生で被害総額が約2千万円との説明であったが、1件の被害額は増加傾向なのか。

【警察】 手口は多種多様であり、被害額の増減については一概に言えない。

4 事務連絡

令和6年度第1回京都府綾部警察署協議会は、令和6年6月ころに開催予定である。

以上

第4回京都府綾部警察署協議会の開催状況

